

PIANO MUSICAL INSTRUMENT

PURCHASE BUSINESS MODEL

ピアノ買取セミナー



株式会社グランドギャラリー



PIANO
MUSICAL
INSTRUMENT

買取セミナー

目次

table of contents

第1章：ピアノの各部の名称

第2章：ピアノ買取システム遠隔サポート

—撮影のポイント—

第3章：ピアノ買取の流れ

第4章：ピアノ買取価格の評価基準

第5章：ピアノ買取でよくある質問

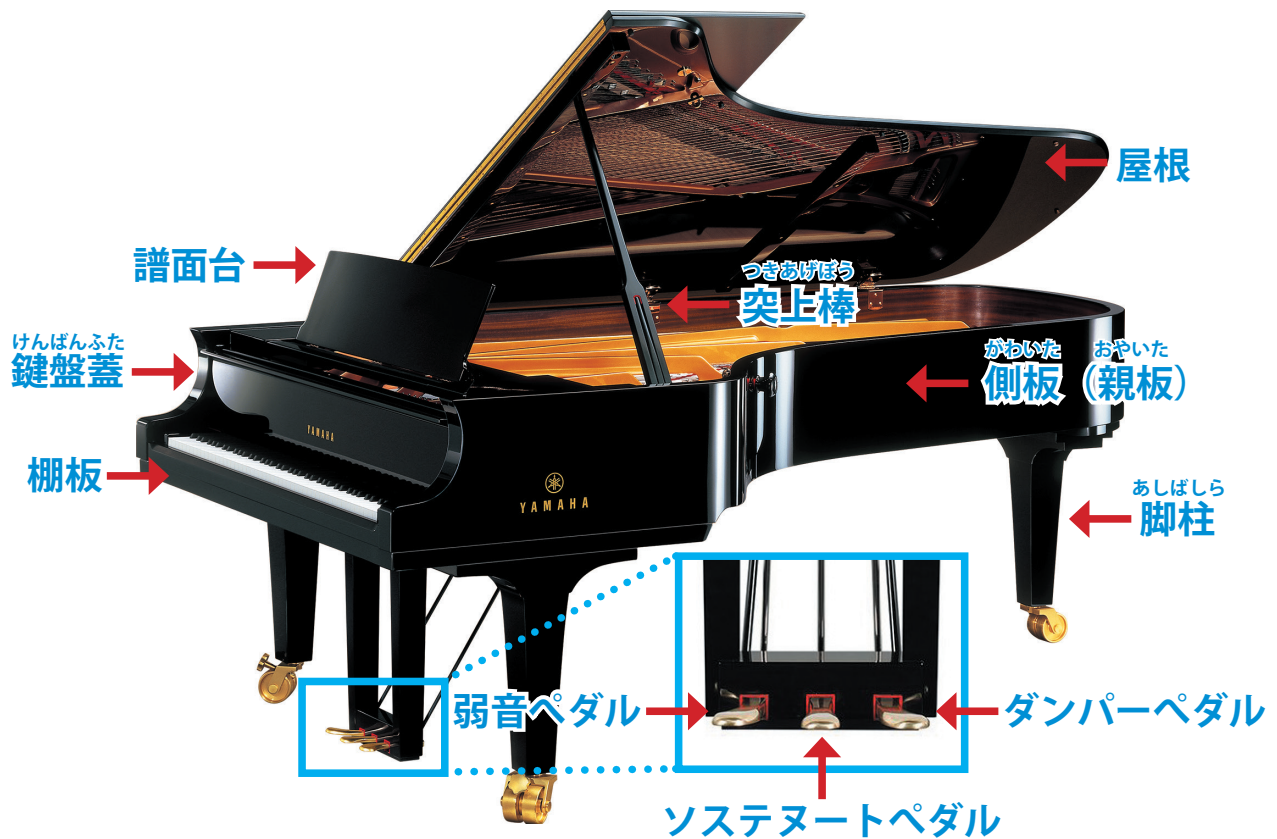
本セミナーの狙い

aim of this seminar

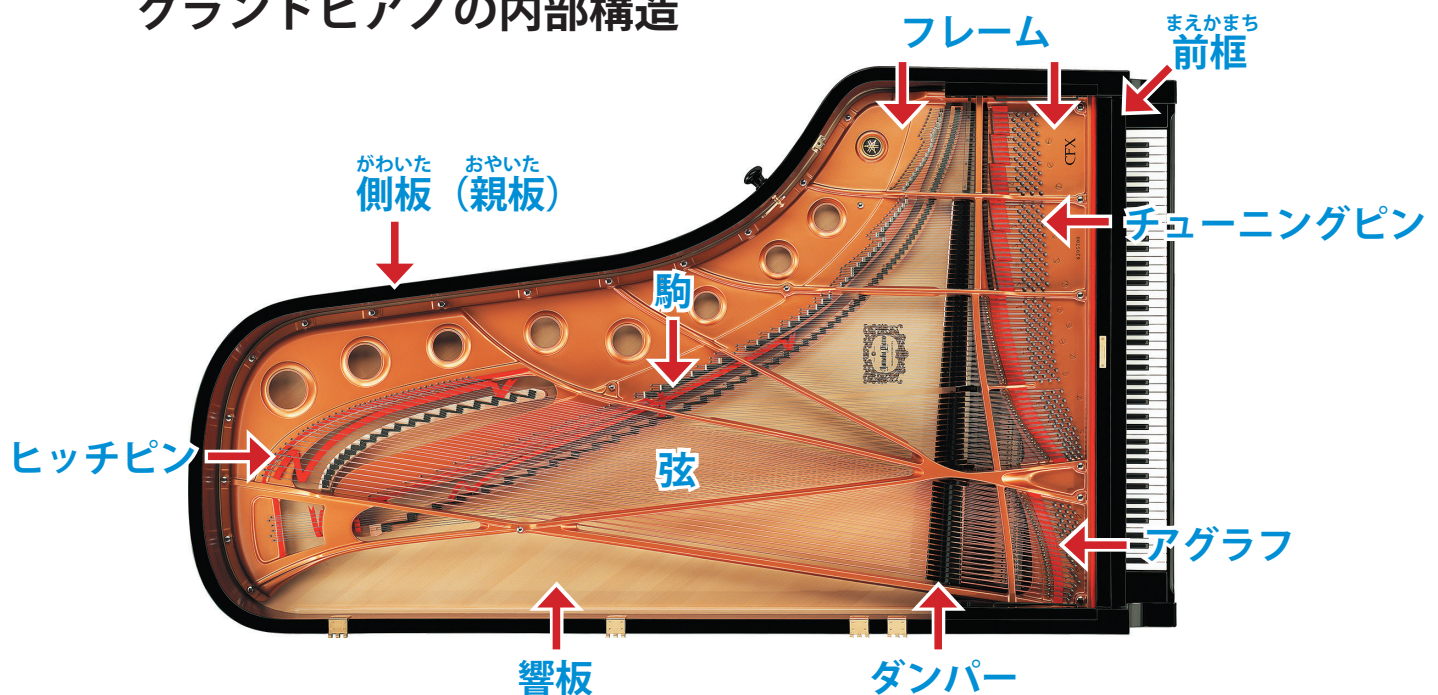
ピアノ・楽器買取未経験の方、経験が浅い方が
査定に必要な基礎的な知識・スキルを身につけ、
お客様との商談成立後の流れを理解する

第1章 ピアノの各部の名称

グランドピアノ

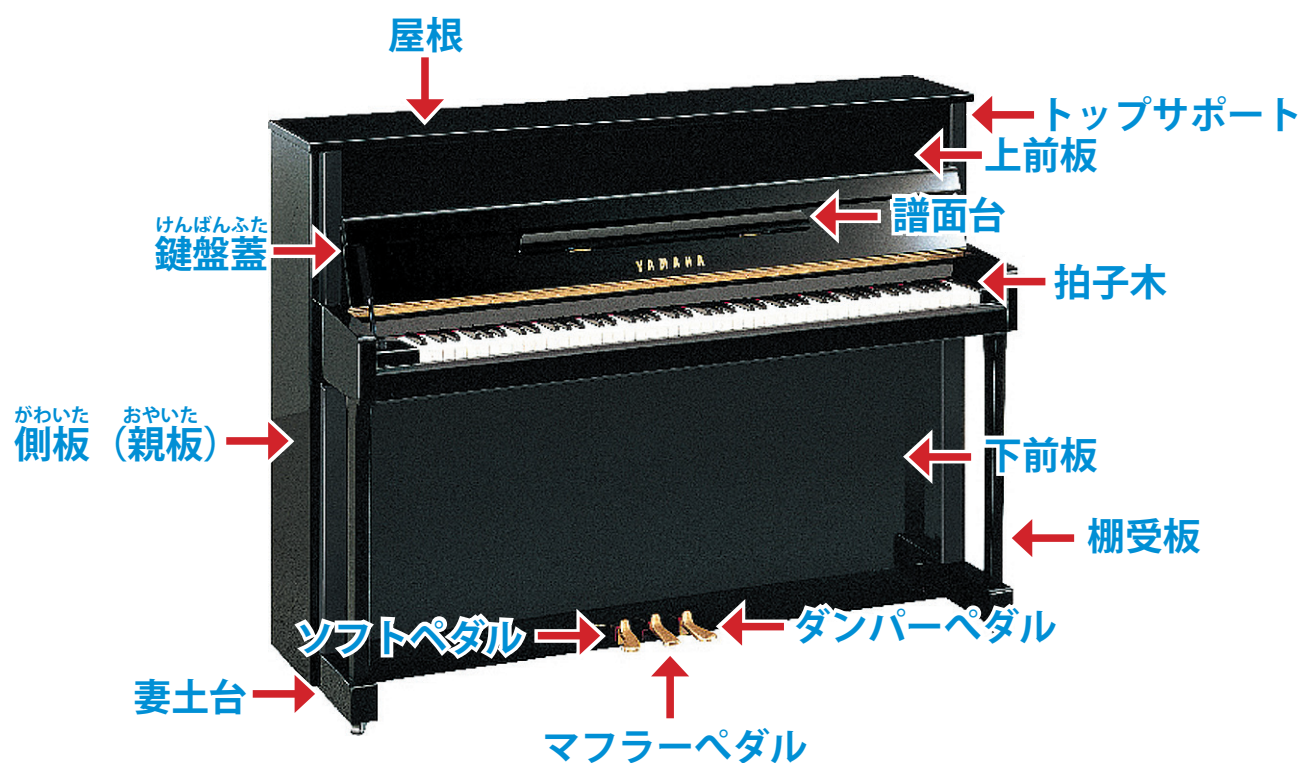


グランドピアノの内部構造

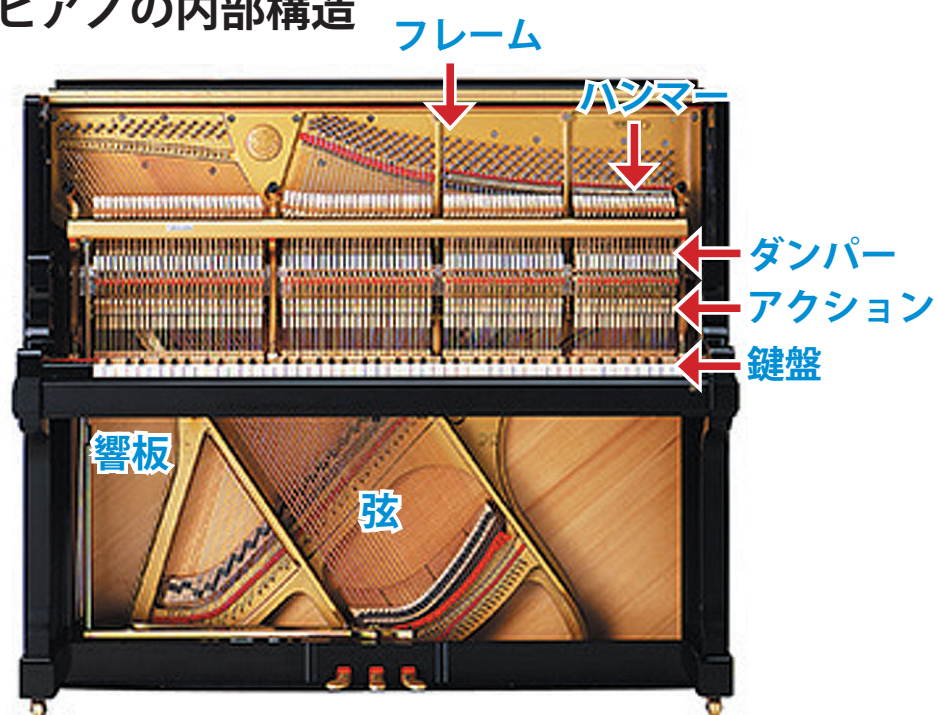


第1章 ピアノの各部の名称

アップライトピアノ



アップライトピアノの内部構造



第2章 ピアノ買取システムの遠隔サポート

撮影のポイント

1 ブランド名



グランドピアノ
YAMAHA



アップライトピアノ
YAMAHA



- ・鍵盤の蓋を開けた内側
- ・ボディの側面



2 機種名(品番・型番)

3 製造番号



グランドピアノ
YAMAHA



アップライトピアノ
YAMAHA



グランドピアノ：

- ・鍵盤側の手前の屋根を開けて、高音部側のフレーム（金属部分）右側手前
- ・中央手前付近



アップライトピアノ：

- ・屋根を開けて、フレーム（金属部分）右側上部
- ・中央付近のメーカーロゴ周辺

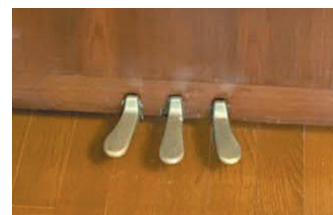


調律点検記録カード（保証書）

4 ペダルの本数



グランドピアノ
YAMAHA



アップライトピアノ
YAMAHA

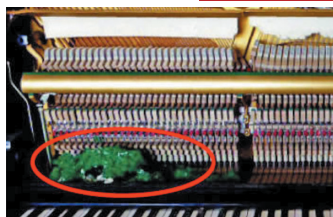
第2章 ピアノ買取システムの遠隔サポート

撮影のポイント

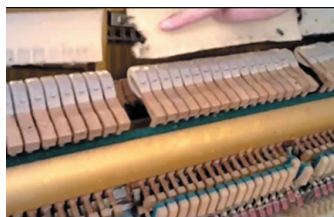
5-1 ねずみ・虫によるダメージ 減額対象



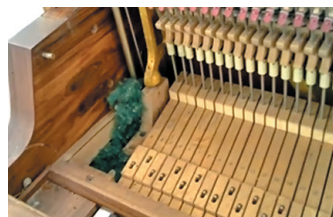
ねずみによるマフラー破れ



ねずみの巣

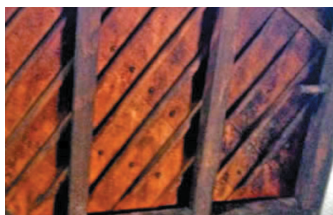


ねずみによるマフラー穴

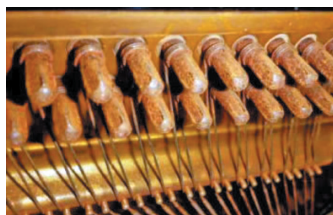


ねずみによる布破れ

5-2 火災・水害になるダメージ 減額対象

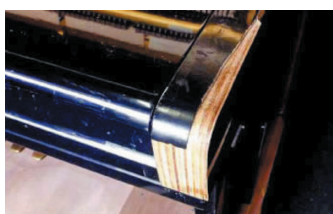


火災による響板・支柱の焦げ



水害・結露によるピン・弦の錆び

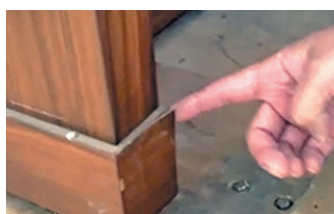
5-3 割れ・ヒビのダメージ 減額対象



外装のヒビや剥がれ

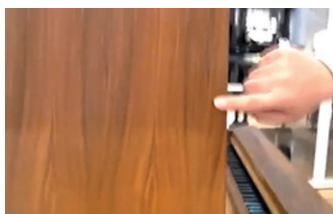


脚や土台のヒビや剥がれ



木目調化粧板の剥がれ

5-4 日焼けによるダメージ 減額対象



木目調ピアノの日焼け

5-5 欠け、欠品 減額対象



ペダルの不足や折れ



外付けの譜面台の確認



消音装置のアダプターや部品の確認

5-6 電気装置オプション 減額対象



消音装置



自動演奏ユニット
外付けタイプ



自動演奏ユニット
外付けフロッピータイプ



自動演奏
本体組み込みタイプ

※アダプターなど付属品の確認
※動作確認
・音が完全に消えるか
・ヘッドホンから音が聞こえるか

※アダプターなど付属品の確認
※動作確認
・自動で演奏が流れるか
・鍵盤やペダルが自動で動くか

※アダプターなど付属品の確認
※動作確認
・自動で演奏が流れるか
・鍵盤やペダルが自動で動くか

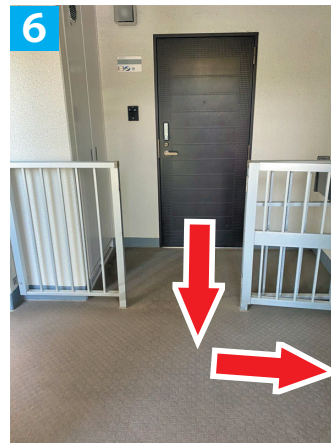
※動作確認
・自動で演奏が流れるか
・鍵盤やペダルが自動で動くか

第2章 ピアノ買取システムの遠隔サポート

撮影のポイント

6-1 搬出経路（部屋→廊下→玄関→エレベーター／階段など）

※各地点の高さや幅がわかるように 全体的にひいた位置からカメラの向きを縦向きにして 撮影してください。



第2章 ピアノ買取システムの遠隔サポート

撮影のポイント

6-2 トラックスペース（地面）

6-3 搬出する窓や場所

6-4 障害となる植樹や電線、カーポートなど

6-5 周辺の道路状況



- ・全体の繋がりが確認できるようにできるだけ離れた位置から撮影する
- ・一方向からだけでなく、正面、左方向、右方向からの3つのアングルから撮影する

左方向から撮影



正面から撮影



右方向から撮影



周辺道路を撮影



- ・1階から搬出する場合は、道路から玄関までの間に5段以上の階段がないか確認する

玄関前の階段



第2章 ピアノ買取システムの遠隔サポート

撮影のポイント

6-2 トラックスペース（地面）

6-3 搬出する窓や場所

6-4 障害となる植樹や電線、カーポートなど

6-5 周辺の道路状況



- ・全体の繋がりが確認できるようにできるだけ離れた位置から撮影する
- ・一方向からだけでなく、正面、左方向、右方向からの3つのアングルから撮影する

左方向から撮影



正面から撮影



右方向から撮影



周辺道路を撮影



- ・1階から搬出する場合は、道路から玄関までの間に5段以上の階段がないか確認する

玄関前の階段



第3章 ピアノ買取の流れ

査定の注意点

ピアノの買取査定の流れは、ブランドバックや時計、宝飾品などの査定とほぼ同じですが、ピアノには基本的に偽物（コピー品／基準外品）はありませんので真贋の必要はありません。

ピアノ買取査定で最低限確認が必要な項目

- 1 ブランド名
- 2 機種名（品番・型番）
- 3 製造番号
- 4 ペダルの本数
- 5 商品状況（各種ダメージ・欠品）
- 6 設置状況（お客様周辺情報）



ピアノも他の商材同様に相場がありますので、「ブランド名」や「機種名」、「製造番号」等が確認できれば、相場をもとに商品の基本価格を算出することができます。また、商品状態（各種ダメージ・欠品）等によって減額対象となる場合があります。

商品状況（各種ダメージ・欠品）で確認が必要な項目

減額対象

- 5-1 ねずみ・虫によるダメージ
- 5-2 火災・水害になるダメージ
- 5-3 割れ・ヒビのダメージ
- 5-4 日焼けによるダメージ
- 5-5 欠け、欠品
- 5-6 電気装置オプション

ピアノ買取査定が他の商材と大きく異なる点は、「設置状況（お客様周辺情報）」の確認が必要な点です。買取成立後にピアノを家から搬出してトラックで運ぶという専門業者による回収作業が発生しますので、この確認は商品価値の算出と同時に、できるだけ正確に行うことが求められます。ピアノの最終的な買取金額は、回収作業にかかる費用を商品価格から差し引いた形で決定されます。

設置状況（お客様周辺情報）で確認が必要な項目

- 6-1 搬出経路（部屋→廊下→玄関→エレベーター／階段など）
- 6-2 トラックスペース（地面）
- 6-3 搬出する窓や場所
- 6-4 障害となる植樹や電線、カーポートなど
- 6-5 周辺の道路状況

※遠隔サポートで必要な画像の詳しい解説は「第6章 ピアノ買取STEM遠隔サポート ー撮影のポイントー」を参照

第3章 ピアノ買取の流れ

査定の注意点

ピアノは、グランドピアノであれば約 300kg ～ 500kg、小型のアップライトピアノでも約 200kg ～ 250kg を超える重さがあります

ピアノは衝撃や振動で音が正しく出なくなってしまうこともある繊細な楽器ですので、搬出は専門業者が必要になります。ピアノの種類や建物にもよりますが、買取するピアノが2階以上に設置されている場合は、クレーン車や手吊りなどの作業が必要になることがあります。また、リフォームや増改築の有無の確認も行ってください。搬入時は問題なく入ったけれど、その後のリフォームや増改築等によって出せなくなるケースも稀にあります。設置状況によっては、ピアノを一度解体して搬出、運送して組み立て直すという選択以外に方法がないこともあり、通常よりも回収費用がかかる場合もあります。

事前の設置状況を正確に行っていなかったばかりに、商談が成立して、回収作業に入った段階で追加費用が必要であることが発覚してキャンセルになるケースもあります。設置状況の確認は、できるだけ正確に行うようお願いいたします。

ピアノ設置状況（お客様周辺情報）の確認 NG 例



NG ポイント

- ・トラックスペースが確認できない
- ・周辺の道路状況が確認できない
- ・障害となるカーポートを避けて搬出する際に周辺のスペースや電線の状況など全体の繋がりが確認できない

改善

- ・もっとひいて全体を撮影する
- ・右方向や正面からも撮影する



NG ポイント

- ・トラックスペースが確認できない
- ・周辺の道路状況が確認できない
- ・障害となる植樹を避けて搬出する際に周辺のスペースやその他の障害など全体の繋がりが確認できない

改善

- ・もっとひいて全体を撮影する
- ・右方向や正面からも撮影する

※遠隔サポートで必要な画像の詳しい解説は「第6章 ピアノ買取STEM遠隔サポート ー撮影のポイントー」を参照

第3章 ピアノ買取の流れ

査定の注意点

ピアノ設置状況（お客様周辺情報）のチェックポイント



お客様宅まで、運送車両が侵入できる道路幅が確保できているか？

基本的に2t車トラックを使用しますので、お客様宅まで少なくとも3mの道路幅が必要となります。買取査定時にお客様宅にアプローチする道路状況をご確認の上、全体の繋がりがわかるような写真撮影をお願いいたします。



搬入したときから増改築など住宅状況に変化がないか？

搬出作業は基本的に搬入時と同じルートによる作業となります。搬入後に増改築・リノベーション等が行われて、搬入時のルートでは搬出ができないというケースもありますので、搬入時からの住宅状況の変化がないかヒアリングをお願いいたします。



道路から玄関までの間に5段以上の階段がないか？（1階から搬出）

1階からの搬出通常作業は、基本的に玄関や掃き出し窓から人力でピアノを運び出す作業となります。そのため、トラックスペースとなる道路から玄関までの間に5段以上の階段がないか、事前の確認をお願いいたします。



第3章 ピアノ買取の流れ

査定の注意点

ピアノ設置状況（お客様周辺情報）のチェックポイント



搬出に使用するエレベーターは9人乗りか？（2階以上から搬出）

2階以上からの搬出で、玄関から搬出してエレベーターを使ってピアノを運び出す場合、使用するエレベーターは少なくとも9人乗り以上である必要があります。エレベーターの形状や搬出するピアノのサイズによっては9人乗りのエレベーターであっても搬出にエレベーターが使用できない場合がありますので、事前の確認をお願いいたします。



乗用エレベーターは建築基準法施行令で、定員1人あたりの体重を65kgとして計算するように定められています。定員の合計体重は積載以下でなければならないため、積載600kgのとき定員9名となります。

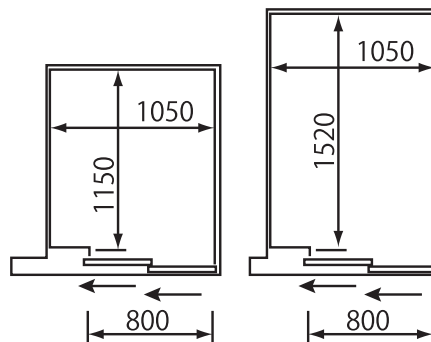
※積載（定格積載量）とは、エレベーターにかごに載れるまたは載れる荷物の最大質量を表します。

※築年数の古い共同住宅のエレベーターの場合、3F、5F、7F停止など飛び飛びの場合もありますので注意してください。



エレベーターの仕様（型状）の確認

エレベーターには色々な型状があります。正方形や縦長があります。また、両扉開きやストレッチャーが入るような型状もあります。正方形の場合、グランドピアノが入らないこともあります。内寸を図っていただければ、サポート時により正確に算出できます。



搬出に使用する階段に90度曲がる箇所がないか？（内・外ともに）

ピアノの搬出ルートに階段がある場合は、階段幅の確認と同時に、90度曲がる箇所の確認が必須です。また、外階段だけなのか、室内階段もあるのか、事前の確認をお願いいたします。室内階段の場合は、搬出下見が別途必要です。



第4章 ピアノ買取価格の評価基準

- 1 買取の対象、アコースティックピアノ（グランドピアノ、アップライトピアノ）
- 2 ブランド名（メーカー名）、機種名（品番・型番）、製造番号
- 3 ペダル数（3本、2本）
- 4 サイズ（高さ、間口、奥行き）
- 5 色（黒、木目、白、その他）
- 6 ダメージ（ねずみ・虫、火災・水害、日焼け）
- 7 割れ、ヒビ（鍵盤、脚、響板など）
- 8 欠け、欠品（ペダル、譜面台、消音機能のアダプターなど）
- 9 電気装置オプション（消音装置、自動演奏装置）

減額対象

1 買取の対象、アコースティックピアノ（グランドピアノ、アップライトピアノ）

ピアノは大きく2つに区分されます。「アコースティックピアノ」と「電子ピアノ※」です。ピアノ遠隔サポートで取り扱っているピアノは「アコースティックピアノ」となります。そして「アコースティックピアノ」は、「グランドピアノ」と「アップライトピアノ」に大別されます。

グランドピアノ



グランドピアノは、アップライトピアノに比べて、弦を叩いたハンマーが元の位置に戻りやすい構造になっているため、鍵盤の連打など細かい表現が可能です。また、内部の弦の長さも違うため、音の響きや表現力も大きく広がります。

アップライトピアノ



アップライトピアノは、グランドピアノを家庭用や練習用としてコンパクトにしたタイプのピアノです。弦が縦に張っているため、ハンマーで横から叩く構造となっています。

※電子ピアノは、楽器遠隔サポートで取り扱い可能です。システムの「楽器遠隔サポート」ボタンからお問い合わせください。

第4章 ピアノ買取価格の評価基準

2 ブランド名（メーカー名）、機種名（品番・型番）、製造番号

ブランド名（メーカー名）

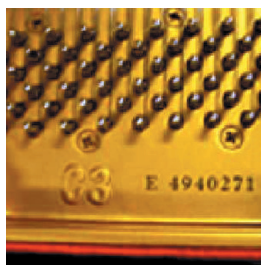
YAMAHA（ヤマハ）やKAWAI（カワイ）では、ピアノのブランド名は鍵盤の蓋を開けた内側に、色文字で「YAMAHA」や「KAWAI」というブランド名が確認できます。KAWAI（カワイ）の場合は、「KAWAI」以外に「K.KAWAI」や「shigeru kawai」となっていることもあります。

YAMAHA（ヤマハ）やKAWAI（カワイ）以外でも、ブランド名を確認する際は、まず鍵盤の蓋を開けて内側を確認、次いで側面部分を確認すると、多くの場合ブランド名が見つかります。

機種名（品番・型番）、製造番号

グランドピアノの場合は、鍵盤側の手前の屋根を開けると多くの場合、高音部側のフレーム（金属部分）右側手前に機種名、製造番号が確認できます。こちらに見当たらない場合は、中央手前付近に記載されていることもありますので併せてご確認ください。

また、「調律点検記録カード（保証書）」があれば、そちらでも機種名、製造番号を確認することができます。



機種名：
アルファベットと数字

製造番号：
5～7ケタの数字

※グランドピアノの屋根は重量がありますので開閉の際は十分にご注意ください。

アップライトピアノの場合は、屋根を開けると多くの場合、フレーム（金属部分）右側上部に機種名、製造番号が確認できます。こちらに見当たらない場合は、中央付近にありますメーカーロゴ（エンブレム）周辺に記載されていることもありますので併せてご確認ください。

また、「調律点検記録カード（保証書）」があれば、そちらでも機種名、製造番号を確認することができます。



※グランドピアノ、アップライトピアノともに屋根は通常簡単に開けることができますが、硬くなって開けにくいと感じた場合は、下から軽くたたくことで開きやすくなります。

グランドピアノ



ブランド名	鍵盤蓋を開けた内側
機種名	① 屋根を開けた右側手前
製造番号	② 屋根を開けた中央手前
	③ 調律点検記録カード

アップライトピアノ



ブランド名	鍵盤蓋を開けた内側
機種名	① 天板を開けた右側
製造番号	② 天板を開けた中央
	メーカーロゴ周辺
	③ 調律点検記録カード

第4章 ピアノ買取価格の評価基準

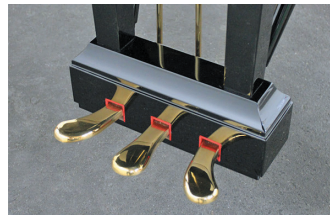
3 ペダル数（3本、2本）

ピアノのペダル数は、3本もしくは2本のものが一般的です。ピアノの歴史を紐解いていくとペダルが4本や5本あるピアノも存在したようですが、今は見られません。

ペダル数が異なる理由の1つとして、製造された年代があります。ピアノの種類に限らず、グランドピアノでもアップライトピアノでも、一昔前はペダル数が2本のピアノが主流でしたので、比較的古い年代に製造されたものが多く存在します。逆に言えば、現在はペダル数が3本のピアノが主流となっています。

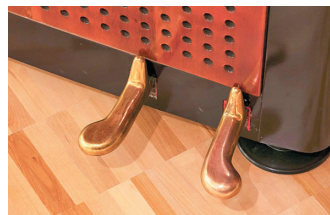
ペダル数が異なるもう1つ理由は、ブランド（製造メーカー）コンセプトによるものがあります。例を挙げると、YAMAHA（ヤマハ）のピアノは、現在3本ペダルが主流となっています。一方、Steinway & Sons（スタインウェイ・アンド・サンズ）のアップライトピアノは、現在でも2本ペダルが主流です。

ペダル数が2本の場合、実はペダルが1本欠品しているということも稀な例ですがあり得ることですので、買取査定の際はご注意ください。



3本ペダル

グランドピアノ
YAMAHA
2006年



2本ペダル

アップライトピアノ
YAMAHA
1954年

4 サイズ（高さ、間口、奥行き）

グランドピアノ

YAMAHA（ヤマハ）のグランドピアノの場合、どのタイプのピアノも高さは約100cm、間口は約150cmです。一方、奥行きは149～227cm、重さは255～410kgとピアノのタイプによって大きな違いがあります。



高さ 101cm
間口 149cm
奥行き 161cm

C1X

YAMAHA（ヤマハ）



高さ 101cm
間口 149cm
奥行き 173cm

C2X

YAMAHA（ヤマハ）



高さ 101cm
間口 149cm
奥行き 186cm

C3X

YAMAHA（ヤマハ）



高さ 101cm
間口 149cm
奥行き 200cm

C5X

YAMAHA（ヤマハ）



高さ 102cm
間口 154cm
奥行き 212cm

C6X

YAMAHA（ヤマハ）



高さ 102cm
間口 155cm
奥行き 227cm

C7X

YAMAHA（ヤマハ）

YAMAHA（ヤマハ）のピアノの場合、機種名の数字が大きくなるにつれて、ピアノ本体のサイズも大きくなります。グランドピアノはサイズが大きいため、基本的に玄関からは搬出できません。大きな窓がある場合は、窓ガラスをすべて取り外すことで搬出可能です。また、二階以上の部屋に設置してある場合は、基本的にクレーンによる搬出作業が必要となりますので、設置場所の事前確認を正確に行うことが大切です。

第4章 ピアノ買取価格の評価基準

4 サイズ（高さ、間口、奥行き）

アップライトピアノ

YAMAHA（ヤマハ）のアップライトピアノの場合、現行モデルのピアノの間口は147～156cm、奥行きは60～68cmです。一方、高さは121cmのものと131cmのものに分かれます。重さは、高さ121cmのものが210～230kg、高さ131cmのものが235～275kgと幅があります。



高さ 121cm
間口 152cm
奥行き 61cm

YUS1
YAMAHA（ヤマハ）



高さ 131cm
間口 152cm
奥行き 65cm

YUS3
YAMAHA（ヤマハ）



高さ 113cm
間口 149cm
奥行き 53cm

b113
YAMAHA（ヤマハ）

YAMAHA（ヤマハ）に限らず、一般的なアップライトピアノの場合、玄関や窓から搬出が可能です。また、二階以上の部屋に設置してある場合は、集合住宅ではエレベーターでの搬出が基本となります。高さ121cm以下のアップライトピアノであれば、エレベーターは6人乗り（片開きドア）、9人乗り（片開きドア・両開きドア）で搬出可能です。戸建てで2階以上に設置している場合は、階段を使った搬出かなり困難ですので、多くの場合、クレーンを使った搬出作業となりますので、搬出する窓や、障害となる植樹やカーポート、電線など、設置場所の事前確認を特に正確に行ってください。

5 色（黒、木目、白、その他）

ピアノの色というと、日本人の多くの方はまず「黒いピアノ」を連想するのではないのでしょうか。しかし、「黒いピアノ」が主流として普及しているのはむしろ日本特有の現象であり、ピアノが誕生したヨーロッパでは約200年間にわたってピアノのボディーの色は木目調でした。

日本のピアノの多くが「黒いピアノ」である理由は

- ・ヨーロッパに比べると湿気が多い日本では木目調のピアノは適さない
- ・日本の伝統工芸である漆塗りの塗装技術が黒塗りピアノの塗料に使用された
- ・黒という色が高級な印象を与える

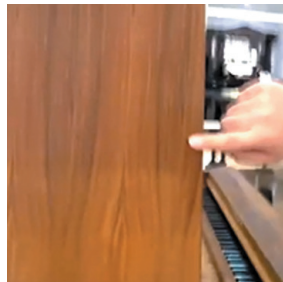
など、諸説あります。



漆黒
グランドピアノ
YAMAHA



木目調（バーチ）
アップライトピアノ
KAWAI



※木目調のピアノは、日焼けによるダメージ（減額対象）にご注意ください。上の画像の場合、下半分が日焼けしています。

第4章 ピアノ買取価格の評価基準

6 ダメージ（ねずみ・虫、火災・水害、日焼け）

減額対象

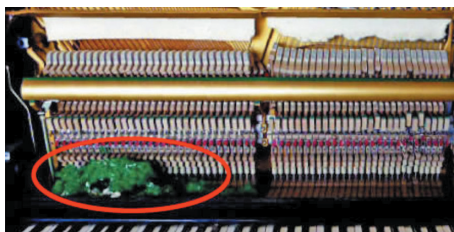
ピアノも他の商材同様に、商品状態（各種ダメージ・欠品）等によって減額対象となる場合がありますので、買取査定時には必ずピアノの状態を外観、内部ともに確認をしてください。ピアノ内部の状態を画像に収める際は、カメラやスマホのライト・フラッシュを点灯させて十分な視認性を確保した上で撮影してください。

ねずみ・虫・ペットなどによる被害

一般的に使用頻度が少なくなったピアノの内部は、人間の目に触れることもなく、静かで餌となるものも存在する、ねずみや虫にとって住みやすい環境です。ピアノの部品を器用に加工して、内部に巣を作っていることもあります。長期間放置されているピアノほど多く見られる被害ですので、内部の布や木材などの状態を確認してください。また、ペットによる被害もあります。爪を研いだり・・・などなど。出来るだけ目に見えるダメージは確認をお願いします



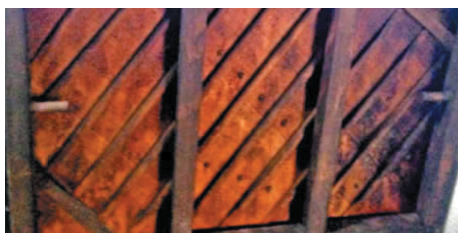
※マフラーなどがねずみ・虫に食べられていることがあります



※ねずみの巣が作られていることがあります

火災・水害による被害

火災や水害の確認もしてください。火災にあっていれば、焦げが確認できる場合があります。また、水害や結露の被害を受けていれば、ピンや弦が錆びている場合があります。お客様に口頭でもお伺いして、ピアノ内部も目視で確認してください



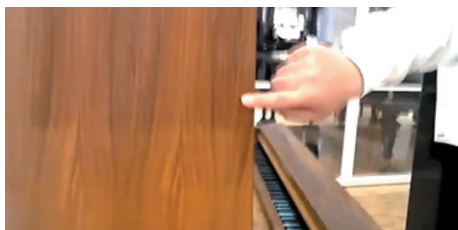
※ピアノの裏側が焦げていることがあります



※水害・結露でピン・弦が錆びていることがあります

日焼け

木目調のピアノの場合は、日焼けによって木目の色合いに変化がないか確認してください。



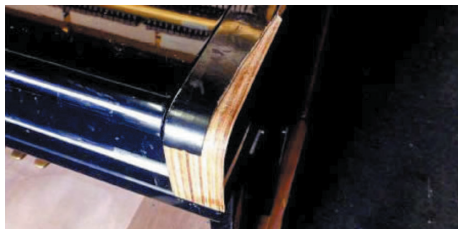
※木目調のピアノは日焼けをしていることがあります。
画像の下半分が日焼けしています。
上側には布等のカバーをかけていたと推測されます。

第4章 ピアノ買取価格の評価基準

7 割れ、ヒビ（鍵盤、脚、響板など）

減額対象

割れやヒビも見落とさないように確認してください。
比較的キズが付きやすい、鍵盤や土台（脚）によく見られます。



※外装に大きなヒビ・剥がれがあることがあります



※脚や土台の角にヒビ・剥がれがあることがあります

8 欠け、欠品（ペダル、譜面台、消音機能のアダプターなど）

減額対象

ペダルがなくなったり、譜面台がなくなったり、消音装置が付いているのにアダプターがなかったりします。



※3本あるはずのペダルのうち1本がなかったり、折れていたりすることがあります



※外付けの大きな譜面台がないことがあります



※消音装置のアダプターや部品が不足していることがあります

9 電気装置オプション（消音装置、自動演奏装置）

減額対象

消音装置や自動演奏装置のように電子部品があるピアノは、故障修理や部品交換などが必要となる可能性があるため、古いものであるほど修理・交換に要する費用として減額対象となります。

すでに装置が故障していて、修理や交換の見通しが立たないピアノについては、買取価格の大幅な減額、もしくは買取不可と判断される場合もあります。



消音装置

音が完全に消えるか、ヘッドホンから音が聞こえるか、確認してください。



自動演奏ユニット
外付けタイプ



自動演奏ユニット
外付けフロッピータイプ



自動演奏
本体組み込みタイプ

自動で演奏が流れ、鍵盤やペダルが自動で動くか、確認してください。

第5章 ピアノ買取でよくある質問

Q ピアノの搬出は何名で作業しますか？

A 基本的には2名での作業になります。一部、室内階段作業、大型クレーンでの作業の場合等、2名以上での作業となる場合があります。増員等の場合、金額変更の可能性がございます。

Q 雨が降っても搬出作業はしますか？ピアノは濡れても大丈夫ですか？

A ピアノにはカバー等をかけて濡れないようには作業いたしますので、大雨でない限り予定通り作業致します。但し、台風、強風時など作業に危険を伴う場合は、作業を延期することがございます。クレーン操作を必要とする時は、雨でのスリップや強風の影響がある為、現場の判断でピアノ引取作業を中止する場合がありますのでご了承ください。悪天候による作業中止になった場合、改めて、引取日の日程調整をお願い致します。

Q 買取をお願いしてから、何日後に搬出ができますか？

A 契約のお手続きをしていただいてから、通常ですと1週間から10日に対応させていただきます。お急ぎの場合はピアノ運送業者へ確認致しますので、お早めにお問合せください。最短日程をお調べいたします。

Q 20年間調律していないピアノの買取は難しいですか？

A 調律の有無はピアノ買取査定に影響致しませんので、ご安心下さい。お買取りしたピアノは弊社自社修理センターにて、再生いたします。

Q 背もたれ椅子や角椅子は買取できますか？

A 通常ピアノ1台につき、1脚のみの無料引取でございます。例外もあり、ピアノによっては2脚お引取が可能な場合もございますので、お問合せください。また、ピアノ椅子の買取は、ほとんどの場合は難しくなっております。ご了承下さい。

Q どうして実際のピアノを見ないで査定ができるのですか？

A メーカー、型番、製造番号よりピアノ査定価格の算出を行っております。38万件の査定データがございますので、ご入力いただいた基本情報に基づいて査定しており、ピアノ高価買取が可能です。ピアノの状態でご気になる傷等ございましたら、遠隔サポートの際に必ず撮影してお送り下さい。

Q お客様宅は東京都ですが、愛知県から引き取りに来るのですか？

A 弊社では、全国47都道府県に配送センターがございます。また、数多くのピアノ配送業者と提携しております。お近くのピアノ配送業者がお伺いしますのでご安心ください。

Q 鍵盤やボディにシールが貼ってありますが、買取は可能ですか？

A シールが貼ってあっても減額の対象とはなりませんので、ご安心下さい。お譲り頂いたピアノは、自社修理工房にて修復いたしますので、そのまま結構でございます。

Q ボールペンでひっかいたような傷がありますが、減額対象ですか？

A 弊社では、傷の場所・大きさにより、再査定となる場合もございますので、お写真で確認させていただきます。遠隔サポートの際に必ず撮影してお送り下さい。

第5章 ピアノ買取でよくある質問

Q 壁とピアノの隙間にほこりがありますが、掃除の必要がありますか？

A ほこりは減額対象にはなりませんので、ご安心ください。お掃除をしているときに傷がついてはいけませんので、そのままの状態をお願いします。引取らせていただいたピアノは、自社修理工房のスタッフが丁寧にお掃除させていただきます。

Q お客様宅までトラックが入れず、20 m程運ぶ必要がありますが、搬出作業に影響はありますか？

A 遠隔サポートの際にお客様宅付近の道路状況等をできるだけ詳しく撮影してお送りください。クレーン作業でなければ、台車が使用できるか等お調べし、可能な限り最善の方法でピアノ搬出作業をご提案致します。

Q ピアノ引取時に傷を指摘して減額となるようなことはありませんか？

A 遠隔サポートでご依頼の際にご申告されていない、ピアノの価値が大幅に下がるようなダメージがピアノ引取当日に見られた場合は、その場で再査定となるケースがございます。再査定で減額となり、ご納得いただけない場合、その場で作業のキャンセル可能です。その際のキャンセル料、作業費等は一切頂いておりません。再査定とならないためにも、ピアノの状態で気になる傷等がございましたら、遠隔サポートの際に必ず撮影してお送り下さい。

Q ピアノのキャスターの下にあるお皿のようなものはありませんが、査定価格に影響しますか？

A インシュレーターは、無くてもピアノ買取査定に影響はございませんので安心下さい。

Q メトロノームとカバーも買取可能ですか？

A メトロノームとカバーは、お買取りが難しくなっております。ご不要でしたら、無料引取が可能となっておりますので、ピアノ引取日にお申し出ください。
※サイズの大きいものなどは、無料引取が難しい場合がございます。
※以下の付属品は無料引取が可能です。(ピアノと同時引取の場合に限ります)
・カバー
・ピアノ椅子
・メトロノーム
・インシュレーター

Q 運送費用や作業費用が引取当日に追加請求されることがありますか？

A 基本的に運送費用と作業員2名、2t クレーンによる作業費用を考慮した上でお見積金額をご提示しています。作業の変更・ピアノ情報の変更等がない限りは追加料金は発生いたしませんので、ご安心ください。再査定とならないためにも、ピアノの状態で気になる傷等や、お客様宅の周辺情報を遠隔サポートの際に必ず撮影してお送り下さい。

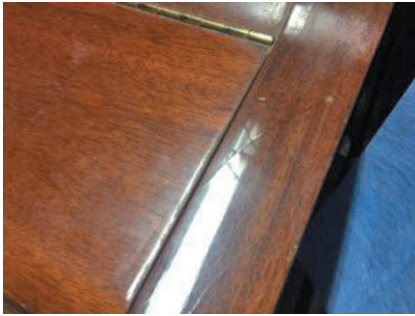
Q 鍵盤を押すと、そのまま上がってきませんが、買取できますか？

A 鍵盤が上がらない原因は様々です。内部で壊れていたり、鼠がかじっていたり、カビなどによって動きが悪くなっていたりしないか、可能な範囲でご確認いただけますと幸いです。また、特に故障などなくてもピアノ鍵盤の動きが悪くなることもございます。引取当日に原因をお調べいたしますので、わかる範囲の情報を遠隔サポートの際にご連絡ください。

第5章 ピアノ買取でよくある質問

Q 猫脚ピアノの塗装割れや、脚割れについて教えてください。

A 猫脚ピアノの塗装割れは、ピアノ表面が割れてきます。爪でなぞって、引っかかるような感触があれば、塗装割れを起こしている可能性が高いです。



猫脚ピアノの脚割れは、ピアノ表面だけではなく、中の木もだんだんと線が入って、隙間が空いてきます。塗装割れと同様に、爪でなぞって、引っかかるような感触があれば、脚割れが始まっている可能性が高いです。



Q 遠隔サポートの際にご提示いただいた価格に保証期間はありますか？

A 遠隔サポートの際にご提示するピアノ査定価格の保証期間は1週間でございます。期間が経過してしまった場合も、ご相談に応じさせていただきますので、是非一度お問い合わせ下さい。再査定させて頂く場合は、出来る限り努力いたします。
※需要と供給のバランス、相場動向により査定金額が変動する場合がございます。

Q お客様宅の2階に設置されたピアノですが、搬入時の方法を覚えていないとのこと。搬出はどうなりますか？

A 一戸建てのご住宅で2階設置の場合、2t クレーン作業もしくは、階段作業でピアノを搬出します。お客様宅の形状や内外の階段状況によっても搬出方法が変わります。遠隔サポートの際にお客様周辺情報（搬出する階段や窓、障害となる植樹やカーポート、トラックスペースや周辺の道路状況など）がわかる写真を必ず撮影してお送り下さい。
※室内の階段を使う場合は、事前の下見（有料）が必須となります。

Q ピアノの引取日と引取の時間は指定できますか？

A ご希望の日程をお知らせいただければ、ピアノ引取について空き状況を確認いたします。遠隔サポートの際にお問い合わせください。
作業時間については、ピアノ配送センターにて最適な引取ルートを前日に組ませて頂く関係上、お時間のご指定は難しくなっております。
お時間連絡は引取日の前営業日、夕方16時以降、順次お電話させて頂く事になりますので、引取ご希望のお日にちをお知らせ願います。
※ピアノ搬出作業、ルートの都合上2時間枠でのご案内となります。（13-15時等）

Q 鍵盤蓋に擦り傷のようなものがありますが、減額になりますか？

A 経年劣化や生活キズに関しては自社工房での修復が可能ですのでこちらに関しては金額の変更はございません。
ピアノ外装面に剥がれや割れ等のダメージ、火災水害にあわれたような跡や中の木肌が見えてしまっているような傷、内部で鼠の被害、錆、カビ、虫食い被害など大きなダメージが見受けられました場合は減額の対象となります。引取当日の再査定とならないためにも、ピアノの状態に気になる傷等がございましたら遠隔サポートの際に必ず撮影してお送り下さい。

第5章 ピアノ買取でよくある質問

Q グランドピアノはどのようにして部屋から搬出するのですか？

A グランドピアノの搬出は、基本的に三本の脚を外して、本体は90度縦にして搬出します。お客様宅の状況によっても搬出方法が変わります。グランドピアノを搬入された際の状況をお客様にヒアリングして頂けると幸いです。遠隔サポートの際にお客様周辺情報（搬出する階段や窓、障害となる植樹やカーポート、トラックスペースや周辺の道路状況など）がわかる写真を必ず撮影してお送り下さい。
※搬出方法が確定できない場合や室内の階段を使う場合は、事前の下見（有料）が必須となります。

Q メンテナンスしていないので艶がありませんが、減額の対象ですか？

A ピアノの外装面の埃や、経年劣化についての減額はございません。お譲り頂いたピアノは、弊社自社工房にて丁寧にクリーニング、吹き付け塗装を行います。ピアノの状態で気になる傷等がございましたら遠隔サポートの際に必ず撮影してお送り下さい。

Q 鍵を紛失して、鍵盤蓋がしまったままですが、買取できますか？

A お引取の際にピアノの鍵を持参して鍵盤蓋をあけますので、ピアノの鍵がなくてもお買取り可能です。査定金額にも影響ございません。

Q キーカバーをなくしてしまいましたが、減額になりますか？

A キーカバーがなくても査定金額に変更はございませんので、ご安心下さい。

Q 本体のカバーは昔捨ててしまいましたが、減額になりますか？

A ピアノ本体にかけるカバーはなくても減額になりませんので、ご安心下さい。

Q 買って数年間しか調律をしていませんが、買取金額に影響しますか？

A お買取りしたピアノは弊社自社工房にて、再生いたします。調律の有無はピアノ買取査定に影響致しませんので、ご安心下さい。

Q どのような状態なら買取金額が変更になりますか？

A 割れ、へこみの極端なキズや、害獣・害虫によるダメージ、火災や水害などの被害など、よほどの大きなダメージが無い限り再査定で金額が変更する事はございませんので、ご安心ください。また、引取当日の金額変更は無料キャンセルが可能となっております。

下記の場合、金額変更の可能性がございます。

- ・遠隔サポートの際に頂いた、ピアノの情報に相違があった。
（ブランド名、機種名、製造番号等の相違）
- ・遠隔サポートの際にご報告頂いていない（ピアノ内部の写真をお送り頂いていない）ねずみ被害、水害、火災等による被害が認められた。
- ・遠隔サポートの際にご報告頂いていない（ピアノ内部の写真をお送り頂いていない）極端な虫食い被害、ピン・弦の錆が見受けられた。
- ・遠隔サポートの際にご報告頂いていない（ピアノ外装の写真をお送り頂いていない）極端なキズ（割れ、めくれ、欠損等）がある。

※引取当日のピアノ確認で金額変更になってしまう可能性は、10件にお1件以下の割合です。大半は上記の限りではございません、出来る限り減額の無いよう努力致します。

第5章 ピアノ買取でよくある質問

Q グランドギャラリーから遠い地域なのですが、引取可能ですか？

A 全国の運送業者と提携しておりますので、どの都道府県でも引取り可能です。
お客様の近隣の配送業者を手配いたしますので、ご安心ください。

Q 玄関先に階段が3段ありますが、搬出に影響はありますか？

A 階段3段でしたら、通常作業で可能です。
※階段が5段以上ある、階段にクランクがある、階段幅が極端に狭い等に該当しますと特殊作業となる場合がございます。遠隔サポートの際に、階段の状況がわかる写真を必ず撮影してお送り下さい。

Q ピアノ周辺の物は全部片付けておいてもらう必要がありますか？

A 搬出経路確保のための、同室内の簡単な移動であれば、追加料金なしで対応出来ることもございます。遠隔サポートの際に、ピアノの設置状況および搬出経路がわかる写真を撮影してお送り下さい。
※部屋から部屋への移動は対応致しかねます。
また、高価な物などはお客様でご対応お願い致します。

Q 後付けの消音装置がついてますが、買取金額に影響がありますか？

A 遠隔サポートの際に、消音装置（サイレント装置）がわかる写真を撮影してお送り下さい。また、消音装置のメーカー名、電源を入れて動作確認（音が完全に消えるか、ヘッドホンから音が聞こえるか）、アダプター（コンセント）、付属品の有無もご連絡下さい。
※消音装置や自動演奏装置のように電子部品があるピアノは、故障修理や部品交換などが必要となる可能性があるため、古いものであるほど修理・交換に要する費用として減額対象となります。
すでに装置が故障していて、修理や交換の見通しが立たないピアノについては、買取価格の大幅な減額、もしくは買取不可と判断される場合もあります。

Q ピアノの椅子が傷だらけですが、減額対象ですか？

A 弊社では椅子への傷はほとんどの場合、金額変更はございませんのでご安心ください。
※輸入ピアノや限定モデル、木目ピアノ等、ピアノによってはピアノ本体と椅子がセットで揃うことで価値が上がるピアノもございます。遠隔サポートの際に、写真を撮影してお送り下さい。
※通常ピアノ1台につき、1脚のみの無料引取でございます。例外もあり、ピアノによっては2脚お引取が可能な場合もございますので、お問合せください。また、ピアノ椅子の買取は、ほとんどの場合は難しくなっております。ご了承下さい。

Q お客様宅前に長時間トラックを停められないようなのですが、当日の作業時間はどれくらいかかりますか？

A アップライトピアノ、グランドピアノの搬出はおよそ30～1時間程度で搬出を致します。
※上記は目安となり、作業内容やピアノサイズにより作業時間が長くなることもございます。
※特殊作業（ピアノ解体、大型クレーン使用、トラック停車位置からの距離が遠い）の場合、作業時間が長くなることもございます。

Q ピアノの弦が一本切れていますが、買取査定できますか？

A 自社工房を併設しておりますので、自社で修復が可能です。そのままの状態でも結構でございますので、遠隔サポートの際に、写真を撮影してお送り下さい。弦が切れてしまっている、壊れているピアノでも思わぬ高額な査定が付くこともございます。

第5章 ピアノ買取でよくある質問

Q 壊れているピアノですが、買取査定できますか？

A 弊社では、お譲りいただいたピアノは自社工房にて整備いたしますので、壊れているピアノでも買取査定可能でございます。遠隔サポートの際に、ダメージ箇所がわかるように写真を必ず撮影してお送り下さい。
※一部、ピアノの機種・ダメージの大きさによっては金額がつかないこともございます。

Q お客様宅は5階ですが、エレベーターは6階と3階しか停まらないようです。搬出作業に影響はありませんか？

A エレベーターと階段を利用し、搬出する為、お引取可能です。エレベーターと階段の両方を使用しての搬出の場合、特殊作業となり査定金額が変動する場合がございます。遠隔サポートの際に搬出経路（階段の状況やエレベーターのサイズなど）がわかる写真を必ず撮影してお送り下さい。
※搬出方法が確定できない場合は、事前の下見（有料）が必須となります。

Q 調律カードが見当たりませんが、減額対象ですか？

A 調律カードの有無は査定には影響いたしませんので、ご安心下さい。

Q 自動演奏装置のフロッピーが見当たりませんが、減額対象ですか？

A フロッピーの有無は査定に影響はございませんので、ご安心下さい。

Q ペダルの変色がありますが、減額対象ですか？

A 経年による変色や軽い錆などでは査定価格に影響はございません。
※原因が水害やペット等の場合は上記の限りではございません。

Q ペダルがぐらついていますが、減額対象ですか？

A ネジが緩んで抜けている場合は減額になりません。しかし、ペダルが折れている場合は再査定になります。
※ご確認方法：ペダルが折れている場合は、ペダルが大きく前後します。

Q 家具が搬出経路にあります。搬出可能ですか？

A 通常2名で作業致しますので、少し横にずらす程度であれば、可能な範囲で対応いたします。本棚・食器棚などにつきましては、お引取前に中を空にしておいていただく、もしくはお客様で移動して頂く必要がございます。ご了承下さいませ。遠隔サポートの際に搬出経路がわかる写真を必ず撮影してお送り下さい。

Q 窓枠や外に取付けてある手すりは、搬出時に外してもらえますか？

A お引取り前に、お客様で外しておいていただく必要があります。
申し訳ございませんが、配送業者では外す作業はいたしておりません。